

# 2023 年度 事業報告

〔 自 2023 年 4 月 1 日 〕  
〔 至 2024 年 3 月 31 日 〕

当財団は、「産業、経済、文化の発展に貢献する科学技術、芸術等を中心とする分野で著しい貢献をした者の顕彰、研究または普及啓発に対する助成等を通じてその促進を図ると共に国際相互理解の増進に努め、もって社会の啓発に貢献し、人類の平和と繁栄に寄与する。」ことを目的として 1984 年 4 月 12 日に設立され、1985 年に第 1 回京都賞授賞式及び第 1 回研究助成金贈呈式を開催し、事業を開始した。また、2011 年 4 月 1 日に公益財団法人の認定を受け、新公益法人制度に基づいた運営を開始した。  
2023 年度の主要事業の活動概要を、次のとおり報告する。

## I. 顕彰事業

### 1. 第 37 回(2022)京都賞に関する事項

#### (1) 英国オックスフォード大学における「Kyoto Prize at Oxford」の開催支援

2023 年 5 月 9 日～10 日（現地時間）、第 37 回(2022)京都賞受賞者を迎えて開催された英国オックスフォード大学主催の「Kyoto Prize at Oxford」を支援した。

### 2. 第 38 回(2023)京都賞に関する事項

#### (1) 京都賞審査機関による審査

2023 年 4 月 8 日、2022 年度に開催された各部門専門委員会及び審査委員会に引き続き京都賞委員会を開催し、受賞候補者の審査を行った。

#### (2) 受賞者の決定と発表

2023 年 6 月 16 日、定時理事会において第 38 回(2023)京都賞受賞者を次のとおり決定し、同日の記者会見において発表した。

##### ① 先端技術部門受賞者

柳町 隆造 (Ryuzo Yanagimachi)

職 業：生殖生物学者

ハワイ大学 名誉教授

業 績：

「受精メカニズムの解明と顕微授精技術確立への貢献」

哺乳動物において、体外受精の方法を確立して受精現象の詳細な解析を進め、さら

に精子を卵細胞質に直接顕微注入する卵細胞質内精子注入法の開発と技術革新を行って顕微授精技術を確立し、現代社会において重要な生殖補助技術の展開に基礎研究と技術開発の両面で大きく貢献した。

② 基礎科学部門受賞者

エリオット・H・リーブ (Elliott H. Lieb)

職 業：数学者・物理学者

プリンストン大学 名誉教授

業 績：

「多体系の物理学をベースにした、物理学・化学・量子情報科学における先駆的な数学的研究」

量子物理学を中心とした数多くの業績を通して、物理学、化学、量子情報科学など広範な分野における数理的な研究の基盤を確立し、さらに、数学の解析学の分野でも大きな貢献をした。現代の数理学における巨人の一人である。

③ 思想・芸術部門受賞者

ナリニ・マラニ (Nalini Malani)

職 業：美術家

業 績：

「揺れ動く歴史を生きる経験に基づき、声なき者の声を届ける表現を開拓し、美術の『脱中心化』に非欧米圏から貢献した美術家」

親しみやすい形式と多様な媒体を用いた夢幻的な空間を創出し、抑圧に苦しむ「声なき者の声」を多くの人々に届ける表現を開拓してきた。非欧米圏の美術家として、世界的に活動し続け、欧米を中心に作られた従来の美術観を見直す潮流に大きく貢献した。

(3) 京都賞審査機関委員の公表

受賞者の発表に併せて、第38回(2023)京都賞審査機関委員を次のとおり公表した。

[京都賞委員会]

榊 裕之 (委員長) 奈良国立大学機構 理事長

審良 静男 大阪大学 ワクチン開発拠点

先端モダリティ・DDS 研究センター 拠点長

巖佐 庸 九州大学 名誉教授

逢坂 恵理子 国立新美術館長

長木 誠司 東京大学 名誉教授

成宮 周 京都大学 大学院医学研究科

メディカルイノベーションセンター センター長

村上 正紀 立命館大学 特別研究フェロー

森 重文 京都大学 高等研究院 院長・特別教授

鷺田 清一 大阪大学 名誉教授

[審査委員会]

① 先端技術部門

審良 静男 (委員長) 大阪大学 ワクチン開発拠点  
先端モダリティ・DDS 研究センター 拠点長  
上田 泰己 東京大学 大学院医学系研究科 教授  
影山 龍一郎 理化学研究所 脳神経科学研究センター センター長  
篠崎 一雄 理化学研究所 環境資源科学研究センター 特別顧問  
杉本 亜砂子 東北大学 大学院生命科学系研究科 教授  
永井 良三 自治医科大学 学長  
萩原 正敏 京都大学 大学院医学研究科 教授  
山本 雅之 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 機構長

② 基礎科学部門

森 重文 (委員長) 京都大学 高等研究院 院長・特別教授  
岡本 久 学習院大学 理学部 教授  
小野 薫 京都大学 数理解析研究所 教授  
熊谷 隆 早稲田大学 理工学術院 教授  
國府 寛司 京都大学 理事・理学研究科 教授  
小谷 元子 東北大学 大学院理学研究科 教授  
斎藤 毅 東京大学 大学院数理科学研究科 教授  
室田 一雄 情報・システム研究機構 統計数理研究所 特任教授

③ 思想・芸術部門

逢坂 恵理子 (委員長) 国立新美術館長  
笠原 美智子 (公財)石橋財団 アーティゾン美術館 副館長  
蔵屋 美香 横浜美術館 館長  
島 敦彦 国立国際美術館 館長  
建畠 哲 埼玉県立近代美術館 館長  
西野 嘉章 東京大学 名誉教授  
松隈 洋 神奈川大学 建築学部 教授  
松本 透 長野県立美術館 館長

[専門委員会]

① 先端技術部門

萩原 正敏 (委員長) 京都大学 大学院医学研究科 教授  
稲垣 暢也 (公財)田附興風会 医学研究所北野病院 理事長  
岡田 随象 東京大学 大学院医学系研究科 教授  
佐久間 一郎 東京大学 大学院工学系研究科 教授  
佐藤 俊朗 慶應義塾大学 医学部 教授  
塩見 美喜子 東京大学 大学院理学系研究科 教授  
濱地 格 京都大学 大学院工学研究科 教授

尾藤 晴彦 東京大学 大学院医学系研究科 教授

② 基礎科学部門

小谷 元子 (委員長) 東北大学 大学院理学研究科 教授  
石井 志保子 東京大学名誉教授・東京工業大学名誉教授  
田中 利幸 京都大学 大学院情報学研究科 教授  
辻 雄 東京大学 大学院数理科学研究科 教授  
坪井 俊 武蔵野大学 工学部 特任教授  
日野 正訓 京都大学 大学院理学研究科 教授  
俣野 博 明治大学 先端数理科学インスティテュート  
明治大学研究特別教授  
望月 拓郎 京都大学 数理解析研究所 教授

③ 思想・芸術部門

西野 嘉章 (委員長) 東京大学 名誉教授  
五十嵐 太郎 東北大学 大学院工学研究科 教授  
植松 由佳 国立国際美術館 学芸課長  
後小路 雅弘 北九州市立美術館 館長  
四方 幸子 キュレーター・批評家  
橋本 優子 宇都宮美術館 学芸員  
三木 あき子 ベネッセアートサイト直島  
インターナショナルアーティスティックディレクター  
鷺田 めるろ 十和田市現代美術館 館長

(肩書は2023年6月1日現在)

### 3. 第38回(2023)京都賞授賞式及び関連行事の開催

#### (1) 第38回(2023)京都賞授賞式

日 時：2023年11月10日(金) 15:00

場 所：国立京都国際会館 大会議場

貴 賓：高円宮妃久子殿下(稲盛財団名誉総裁)

受 賞 者：エリオット・H・リーブ 博士(基礎科学部門)

ナリニ・マラニ 氏(思想・芸術部門)

特別ゲスト：ブライアン・T・グレンフェル博士(第37回(2022)基礎科学部門受賞者)

アンドリュー・チャーチャー・ヤオ博士(第36回(2021)先端技術部門受賞者)

ロバート・G・レーダー博士(第36回(2021)基礎科学部門受賞者)

出席者数：750名

祝 辞：岸田 文雄 内閣総理大臣

内 容：高円宮妃久子殿下ご臨席のもと、国内、海外から多くの招待者を迎え授賞式を開催した。式典では、稲盛財団会長 中西 重忠から受賞者へ、京都賞メダ

ルとディプロマ、賞金 1 億円が贈られ、受賞者は受賞にあたってのスピーチを行った。また、内閣総理大臣から祝辞が寄せられ、受賞者の栄誉を讃えた。なお、先端技術部門の柳町隆造博士は 9 月に逝去されたため、司会の代読にて生前に寄せられた挨拶文を紹介した。

## (2) 晩餐会

日 時：2023 年 11 月 10 日（金） 18:15  
場 所：ザ・プリンス 京都宝ヶ池  
貴 賓：高円宮妃久子殿下（稲盛財団名誉総裁）  
出席者数：450 名  
内 容：授賞式に続いて、高円宮妃久子殿下ご臨席のもと晩餐会を開催し、多くの出席者が受賞者を祝福した。

## (3) 記念講演会

日 時：2023 年 11 月 11 日（土） 13:00  
場 所：国立京都国際会館 大会議場  
出席者数：550 名  
演 題：「物理学と数学の世界を歩んだ人生」 エリオット・H・リーブ 博士  
「私には私のリアリティがある」 ナリニ・マラニ 氏  
「受賞者業績解説（先端技術部門）」 阿久津 英憲 氏、小倉 淳郎 氏  
内 容：受賞者が上記のテーマで講演を行い、自身の研究や創作を通じて培われた人生観や世界観を披露した。先端技術部門に関しては、故柳町博士にゆかりのある講演者 2 名が受賞者の業績解説を行った。  
後 援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、大学コンソーシアム京都、京都新聞、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、共同通信社、時事通信社、NHK、KBS 京都、エフエム京都

## (4) 米国サンディエゴにおける「Kyoto Prize Symposium」の開催支援及び寄附

2024 年 3 月 12 日～14 日（現地時間）、第 38 回(2023)京都賞受賞者を迎えて、米国サンディエゴにて開催された「Kyoto Prize Symposium」の開催を支援した。また、2023 年 3 月再調印の覚書に基づき、主催の京都賞シンポジウム組織及び共催大学（カリフォルニア大学サンディエゴ校、ポイント・ロマ・ナザレン大学）に対して、1 回目 35 万ドルの寄附を実施した。（2023 年度から 2026 年度までの 4 年間で総額 140 万ドルを寄附）

## 4. 第 39 回(2024)京都賞に関する事項

### (1) 京都賞審査機関委員の委嘱

2022 年 10 月 7 日の決議の省略の方法による臨時理事会において選任された第 39 回(2024)京都賞審査機関委員に対し、2023 年 9 月 2 日に開催した第 39 回(2024)京都賞合

同委員会において正式に委嘱を行った。

## (2) 推薦依頼書の発送

2023年5月、推薦依頼方針に基づいて選ばれた国内、海外の有識者に対して、郵送もしくはメールにて受賞候補者推薦の依頼を行った。

## (3) 推薦の受付

2023年7月12日をもって推薦書の受付を締め切った。

## (4) 京都賞審査機関による審査

授賞対象分野毎に専門委員会を各4回計12回、審査委員会を各2回計6回開催した。

## 5. 第40回(2025)京都賞に関する事項

### (1) 授賞対象分野の決定

2023年10月6日、決議の省略の方法による臨時理事会において第40回(2025)京都賞授賞対象分野を次のとおり決定した。

先端技術部門 : 情報科学

Information Science

基礎科学部門 : 生命科学及び医学 (分子生物学・細胞生物学・システム生物学等)

Life Sciences and Medicine (Molecular Biology, Cell Biology, and Systems Biology, etc.)

思想・芸術部門 : 思想・倫理

Thought and Ethics

### (2) 京都賞審査機関委員の決定

2023年10月6日、決議の省略の方法による臨時理事会において第40回(2025)京都賞審査機関委員を選任した。

## II. 研究助成事業

### 1. 稲盛研究助成

#### (1) 2023年度稲盛研究助成に関する事項

##### ① 2023年度稲盛研究助成金贈呈式の開催

日 時 : 2023年4月15日(土) 13:30

場 所：ザ・プリンス 京都宝ヶ池

内 要：2023年3月10日の定時理事会において承認された50件に対し、総額5,000万円の贈呈を行った。また贈呈式に引き続いて、2023年度盛和スカラーズソサエティ交流会が開催され、盛和スカラーズソサエティ会員によるポスター発表が行われた。

※ 附属明細1「2023年度研究助成事業 稲盛研究助成対象者並びに研究題目」を参照

## (2) 2024年度稲盛研究助成に関する事項

### ① 応募受付の開始

2023年7月3日、2024年度稲盛研究助成の申請書の受付を開始した。

### ② 応募の締切

2023年8月31日をもって申請書の受付を締め切り、82の大学及び研究機関より408件の応募を得た。この応募分について、各委員による予備選考を行った。

### ③ 稲盛研究助成選考委員会による選考

2023年12月1日と12月2日に稲盛研究助成選考委員会を開催し、50件 5,000万円の助成対象者の選考を行った。

### ④ 稲盛研究助成対象者の決定と発表

2024年3月8日、定時理事会において2024年度稲盛研究助成対象者及び助成金額を決定し、プレス発表を行った。

※ 附属明細2「2024年度研究助成事業 稲盛研究助成対象者並びに研究題目」を参照

### ⑤ 稲盛研究助成選考委員の公表

助成対象者の発表に併せて、2024年度稲盛研究助成選考委員を次のとおり公表した。

[2024年度稲盛研究助成選考委員]

村上 正紀（委員長） 立命館大学 特別研究フェロー

[自然科学系]

審良 静男	大阪大学 ワクチン開発拠点 先端モダリティ・DDS研究センター 拠点長
巖佐 庸	九州大学 名誉教授
上田 正仁	東京大学 大学院理学系研究科 教授
影山 龍一郎	理化学研究所 脳神経科学研究センター センター長
片岡 一則	(公財)川崎市産業振興財団 副理事長 東京大学 名誉教授
君塚 信夫	九州大学 大学院工学研究院 主幹教授
経塚 淳子	東北大学 大学院生命科学研究科 教授
佐々木 節	東京大学 国際高等研究所

	カブリ数物連携宇宙研究機構 副機構長
坪井 俊	武蔵野大学 工学部 特任教授
西田 栄介	理化学研究所 生命機能科学研究センター センター長
野田 進	京都大学 大学院工学研究科 教授
安浦 寛人	国立情報学研究所 副所長
柳田 素子	京都大学 大学院医学研究科 教授
山田 容子	京都大学 化学研究所 教授

[人文・社会科学系]

井野瀬 久美恵	甲南大学 文学部 教授
玄田 有史	東京大学 社会科学研究所 教授
河野 哲也	立教大学 文学部 教授
山室 信一	京都大学 名誉教授
渡辺 千原	立命館大学 法学部 教授

(肩書は2024年3月1日現在)

(3) 2025年度稲盛研究助成に関する事項

① 稲盛研究助成選考委員の決定

2024年3月8日、定時理事会において2025年度稲盛研究助成選考委員を選任した。

(4) 2026年度稲盛研究助成に関する事項

① 稲盛研究助成プログラムの拡充

2024年3月8日、定時理事会において従来の稲盛研究助成プログラムを拡充した新規プログラムの骨子が承認された。

2. 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ

(1) 2023年度稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① 2023年度 InaRIS フェロー授与式の開催

2023年4月22日、ホテルオークラ京都において2023年度 InaRIS フェロー授与式を開催し、2023年3月10日の定時理事会において承認された2名に対して、認定書を贈呈するとともに、InaRIS フェローの称号を授与した。

② InaRIS フェローに対する助成金の贈呈

2023年度に活動する8名の InaRIS フェローに対し、各1,000万円、総額8,000万円の助成金贈呈を行った。(各 InaRIS フェローに対する助成金は、1年あたり1,000万円、10年間合計1億円とする。)

### ③ InaRIS 運営委員会の開催

2023年3月10日の定時理事会において承認された2023年度InaRIS運営委員により、2023年10月26日と2024年1月19日に、InaRIS運営委員会を開催した。

[2023年度InaRIS運営委員]

中西 重忠 (機構長) 京都大学 名誉教授

岡田 清孝 京都大学 名誉教授

小林 誠 高エネルギー加速器研究機構 特別荣誉教授

榊 裕之 奈良国立大学機構 理事長

西尾 章治郎 大阪大学 総長

森 重文 京都大学 高等研究院 院長・特別教授

山中 伸弥 京都大学 iPS細胞研究所 名誉所長・教授

(肩書は2023年3月1日現在)

### ④ アドバイザリー・ボード・ミーティングの開催

2023年10月26日、2023年度アドバイザリー・ボード・ミーティングを開催し、在籍するInaRISフェローより、1年間の研究成果と今後1年間の研究計画の報告を受けた。

### ⑤ 2023年度中間審査会の開催

2023年10月26日、2023年度中間審査会を開催し、助成開始から3年目のInaRISフェローより、3年間の研究成果と今後3年間の研究計画の報告を受けた。

## (2) 2024年度稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

### ① 応募受付の開始

2023年5月22日、対象領域を「異分野コンバージェンスによる革新的医療の創出」とする2024年度InaRISフェローシップの申請書の受付を開始した。

### ② 応募の締切

2023年7月27日をもって申請書の受付を締め切り、22の大学及び研究機関より36件の応募を得た。

### ③ InaRISフェロー選考委員会による選考

2023年11月23日と12月23日にInaRIS選考委員会を開催し、InaRISフェロー候補者の選考を行った。

### ④ InaRISフェローの決定

2024年3月8日、定時理事会において2024年度InaRISフェローを決定し、3月15日にプレス発表を行った。

※ 附属明細3「2024年度研究助成事業 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェロー」を参照

⑤ InaRIS フェロー選考委員の公表

InaRIS フェローの発表に併せて、2024 年度 InaRIS フェロー選考委員を次のとおり公表した。

[2024 年度 InaRIS フェロー選考委員]

高橋 淳 (委員長)	京都大学 iPS 細胞研究所 所長・教授
井上 治久	京都大学 iPS 細胞研究所 教授
奥野 恭史	京都大学 大学院医学研究科 教授
北野 宏明	ソニーグループ株式会社 執行役専務兼最高技術責任者
鈴木 蘭美	ARC Therapies 株式会社 代表取締役社長
武部 貴則	大阪大学 大学院医学系研究科 教授
真下 知士	東京大学 医科学研究所 教授
満倉 靖恵	慶應義塾大学 理工学部 教授

(肩書は 2024 年 3 月 1 日現在)

⑥ 運営委員の決定

2024 年 3 月 8 日、定時理事会において 2024 年度 InaRIS 運営委員を選任した。

(3) 2025 年度稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① 対象領域の決定

2024 年 1 月 19 日、運営委員会において 2025 年度 InaRIS 対象領域を「数学の深化と展開」と決定した。

② InaRIS フェロー選考委員の決定

2024 年 3 月 8 日、定時理事会において 2025 年度 InaRIS フェロー選考委員を選任した。

### Ⅲ. 社会啓発事業

#### 1. こどものキヅキ応援プロジェクトの推進

「こどもたちが不思議を見つけて、自ら深め、連鎖的に増やすことを応援する」をコンセプトに、こどもたちのキヅキを促し、受け止め、答えを出す場ではなく自分で調べてみようと思うきっかけとなる場を提供した。

(1) こども科学博

2023 年 8 月 4 日、5 日、6 日の 3 日間、京都市勧業館 (みやこめっせ) において、小学生向け科学の祭典「こども科学博 2023」を開催し、「生命のキセキ」をテーマ

に、生命がさまざまな環境に適応してきた軌跡や、地球生命の奇跡のような巡り合わせについて、五感を使って体験する場を提供した。3日間で延べ6,300名が来場し、約6,000個のキヅキが集まった。

## (2) キヅキランド

身のまわりの不思議を見つけるウェブサイト「キヅキランド」の運用を行った。同サイトを使った次のオンラインワークショップを開催し、不思議を見つけてふくらませる体験を全国の小学生に届けるとともに、利便性を向上させるための開発を行った。

- ・2023年12月3日、ゲスト：藤原麻里菜（コンテンツクリエイター・文筆家）
- ・2024年2月3日、ゲスト：明和電機 土佐信道（芸術ユニット）

## (3) キヅキひろば

コンセプトに共感するパートナーと協働し、次の活動を展開した。

- ・2023年11月3日、市民団体フィールドソサイエティ及び落ち葉探偵と協働し、法然院において「どんぐりマスターになろう！—森の命をはぐくむ謎を追え—」を開催した。小学生を中心に約50名の親子が参加した。
- ・2023年12月25日、つくるまなぶ京都町家科学館と協働し、川島織物セルコンの協力を得て、「織りのワンダーランド—小学生のための川島織物セルコン工場見学—」をオンラインにて開催した。小学生を中心に全国から40名が参加した。

## 2. 「INAMORI ミュージック・デイ」の開催

京都市交響楽団や招聘アーティストと協力して、文化芸術振興を目的としたプログラム「INAMORI ミュージック・デイ」を開催した。毎年11月3日「文化の日」に、京都市交響楽団と招聘アーティストによるコンサートを開催するとともに、ミニコンサートやスクールコンサート等の音楽イベントを同時期に企画し、より多くの方々が音楽と出会う機会を創出した。

### (1) コンサート

2023年11月3日、世界で活躍する若手音楽家の坂入健司郎（指揮）、佐藤晴真（チェロ）を招聘し、京都コンサートホールにおいて、京都市交響楽団との共演コンサートを開催した。来場者数は約1,200名、そのうち中高生を対象に約300名を無料招待した。

### (2) ミニコンサート

2023年10月15日、17日、24日、京都市京セラ美術館において、京都市交響楽団のメンバーによるミニコンサートを開催した。

### (3) スクールコンサート&レッスン

2023年10月31日、坂入健司郎（指揮）、佐藤晴真（チェロ）を招聘し、京都府立西

舞鶴高等学校において、全校生徒及びその保護者を対象にスクールコンサートを開催するとともに、吹奏楽部に対しレッスンを実施した。

### 3. 「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」の支援及び寄附

2024年2月3日、京都大学との共催により「第10回 京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」を「材料科学がひもとく未来の姿」をテーマに開催し、材料科学を専門とする京都大学の研究者による講演やパネルディスカッションを通して、一般の方々が最先端の学術研究の知に触れる機会を提供した。また、2022年3月に再調印した寄附覚書に基づき、第2回2,000万円の寄附を実施した。(2022年度から2025年度までの4年間で総額8,000万円を寄附予定)

### 4. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動支援

当財団からの寄附金(総額1,100万ドル)で設立されたケースウエスタンリザーブ大学「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動を支援した。

## IV. その他の活動

### 1. 会議の開催状況

理事会、評議員会を次のとおり開催し、全ての議案が原案のとおり承認可決された。

#### (1) 理事会

臨時理事会(決議の省略の方法による)

日 時: 2023年5月26日(金)

議 案: 2022年度事業報告及び決算報告の件

基本財産繰入れの件

理事会規則一部改正の件

第39回(2024)京都賞審査に係る委員選任の件

定時評議員会開催の件

定時理事会

日 時: 2023年6月16日(金)

議 案: 第38回(2023)京都賞受賞者承認の件

役付役員選任の件

学術諮問委員選任の件

事務局長選任の件

京セラ株式会社第69期定時株主総会議決権行使の件

報告事項: 代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

第 37 回(2022)京都賞海外関連行事の件  
2022 年度事業報告及び決算報告の件  
主要日程の件

臨時理事会（決議の省略の方法による）

日 時：2023 年 10 月 6 日（金）  
議 案：第 40 回(2025)京都賞授賞対象分野の件  
第 40 回(2025)京都賞審査に係る委員選任の件

定時理事会

日 時：2024 年 3 月 8 日（金）  
議 案：京都賞顕彰規程改正の件  
2024 年度 InaRIS フェロー並びに助成金額承認の件  
2024 年度 InaRIS 運営に係る委員選任の件  
2025 年度 InaRIS フェロー選考に係る委員選任の件  
2024 年度稲盛研究助成対象者並びに助成金額承認の件  
2025 年度稲盛研究助成選考に係る委員選任の件  
稲盛研究助成プログラム拡充の件  
稲盛研究助成規程改正の件  
2024 年度事業計画及び収支予算の件  
報告事項：代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告  
特別顧問退任及び就任報告  
定時理事会日程変更の件  
第 39 回(2024)京都賞推薦状況報告  
主要日程の件

## （2）評議員会

臨時評議員会（決議の省略の方法による）

日 時：2023 年 4 月 21 日（金）  
議 案：学術諮問委員創設に係る定款変更の件  
報告事項：主要日程の件

定時評議員会

日 時：2023 年 6 月 15 日（木）  
議 案：2022 年度事業報告及び決算報告の件  
理事・監事選任の件  
評議員選任の件  
報告事項：代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告  
第 37 回(2022)京都賞海外関連行事の件  
第 38 回(2023)京都賞受賞内定者の件  
事務局長選任の件

## 主要日程の件

### 2. 委員会等の開催状況

#### (1) 第38回(2023)京都賞顕彰事業の各委員会

開催日	名称	議題
2023. 4. 8	京都賞委員会	各部門受賞者審査

#### (2) 第39回(2024)京都賞顕彰事業の各委員会

開催日	名称	議題
2023. 9. 2	京都賞審査機関合同委員会	審査基本方針決定
2023. 11. 18	京都賞先端技術部門 第1回専門委員会	候補者審査
2023. 11. 19	京都賞基礎科学部門 第1回専門委員会	候補者審査
2023. 11. 25	京都賞思想・芸術部門 第1回専門委員会	候補者審査
2023. 12. 9	京都賞先端技術部門 第2回専門委員会	候補者審査
2023. 12. 10	京都賞基礎科学部門 第2回専門委員会	候補者審査
2023. 12. 16	京都賞思想・芸術部門 第2回専門委員会	候補者審査
2024. 1. 6	京都賞先端技術部門 第3回専門委員会	候補者審査
2024. 1. 7	京都賞基礎科学部門 第3回専門委員会	候補者審査
2024. 1. 8	京都賞思想・芸術部門 第3回専門委員会	候補者審査
2024. 1. 27	京都賞先端技術部門 第4回専門委員会	候補者審査
2024. 1. 28	京都賞基礎科学部門 第4回専門委員会	候補者審査
2024. 2. 3	京都賞思想・芸術部門 第4回専門委員会	候補者審査
2024. 2. 17	京都賞先端技術部門 第1回審査委員会	候補者審査
2024. 2. 18	京都賞基礎科学部門 第1回審査委員会	候補者審査
2024. 2. 23	京都賞思想・芸術部門 第1回審査委員会	候補者審査
2024. 3. 9	京都賞先端技術部門 第2回審査委員会	候補者審査
2024. 3. 10	京都賞基礎科学部門 第2回審査委員会	候補者審査
2024. 3. 16	京都賞思想・芸術部門 第2回審査委員会	候補者審査

#### (3) 研究助成事業の各委員会

開催日	名称	議題
2023. 10. 26	2023年度第1回 InaRIS 運営委員会	運営に関する事項

2023. 10. 26	2023 年度アドバイザー・ボード・ミーティング	InaRIS 研究報告
2023. 10. 26	2023 年度中間審査会の開催	InaRIS 研究報告
2023. 11. 23	2024 年度 InaRIS フェロー 第 1 回選考委員会	フェロー選考
2023. 12. 1	稲盛研究助成選考委員会 人文・社会科学系分科会	助成対象者選考
2023. 12. 2	稲盛研究助成選考委員会 自然科学系分科会	助成対象者選考
2023. 12. 23	2024 年度 InaRIS フェロー 第 2 回選考委員会	フェロー選考
2024. 1. 23	2023 年度第 2 回 InaRIS 運営委員会	運営に関する事項

### 3. 広報活動

#### (1) 記者発表の実施

実施日	内容	実施場所／配布
2023. 6. 16	第 38 回(2023) 京都賞受賞者発表 記者会見	ホテル日航プリンセス京都
2023. 6. 26	不思議と出会える夏休みの科学の祭典！ こども科学博 2023 「生命のキセキ」を 8 月に開催 (資料配付)	関係記者クラブ
2023. 8. 2	～思いはばたく 音楽の日～ 「INAMORI ミュージック・デイ 2023」開催のお知らせ (資料配付)	関係記者クラブ
2023. 11. 10	第 38 回(2023) 京都賞受賞者共同記者会見	国立京都国際会館
2024. 3. 8	2024 年度稲盛研究助成 50 名採択 (資料配付)	関係記者クラブ
2024. 3. 15	2024 年度稲盛科学研究機構 (InaRIS) フェロー決定 (資料配付)	関係記者クラブ

#### (2) 刊行物の発行

発行月	内容	発行部数
2023. 10	稲盛財団 NEWS 106 号	2,500 部
2024. 2	稲盛財団 NEWS 107 号	4,000 部

#### (3) 電子媒体による情報発信

以下の電子媒体によって、京都賞や稲盛財団の活動に関連する情報を発信した。

- ・ 稲盛財団ホームページ (日・英)
- ・ 京都賞紹介サイト (日・英)
- ・ Facebook 「京都賞-Kyoto Prize」 (日・英)  
配信：計 79 回 (日：56 回/英：23 回)
- ・ X 「Kyoto Prize」「Inamori News」 (日・英)

- ・メールマガジン 「稲盛財団 Magazine」 (日)  
配信：計 8 回 (2023 年 5 月、6 月 2 回、9 月、11 月、2024 年 1 月、2 月、3 月)
- 「Inamori Foundation e-Newsletter」 (英)  
配信：計 8 回 (2023 年 6 月 2 回、9 月、10 月、11 月、2024 年 1 月、2 月、3 月)
- 「3S Magazine (3S 会員専用)」  
配信：計 4 回 (2023 年 5 月、10 月、2024 年 1 月、3 月)
- 「キヅキランド」  
配信：計 6 回 (2023 年 6 月、8 月、9 月、11 月、12 月、2024 年 1 月)

#### (4) 京都市京セラ美術館「京都賞コーナー」の展示運用管理

受賞者の考えや生き方にふれることを目的に、京都市京セラ美術館の東広間に常設展示している「京都賞コーナー」への理解を促すための課題抽出、施策の検討を行った。

2023年度助成事業 稲盛研究助成対象者並びに研究題目

	対象者	研究題目
自然科学系	アキヤマ ミドリ 秋山 みどり 京都大学 大学院工学研究科 助教	箱型分子ペルフルオロキュバンの電子伝導性の解明
	アラキ テツペイ 荒木 徹平 大阪大学 産業科学研究所 准教授	柔軟性や透明性を有する大規模有機回路の研究
	イシワリ フミタカ 石割 文崇 大阪大学 大学院工学研究科 講師	デザイン型二面性分子によるペロブスカイト太陽電池の表面パッシベーション
	イノウ ダイスケ 稲生 大輔 大阪大学 大学院医学系研究科 特任講師	サイトカイン受容体を標的とするリガンド動態を可視化する蛍光センサーの創生
	イワサキ ユカ 岩崎 由香 理化学研究所 生命医科学研究センター チームリーダー	小分子RNAとトランスポゾンが形作るヘテロクロマチン構造の理解
	ウジハラ ヨシヒロ 氏原 嘉洋 名古屋工業大学 大学院工学研究科 准教授	鳥類心筋細胞の高出力を生み出す仕組みの解明
	ウスイ ノリヨシ 臼井 紀好 大阪大学 大学院医学系研究科 准教授	薬物依存における新規依存形成メカニズムの解明
	エイナガ マリ 榮永 茉利 大阪大学 大学院基礎工学研究科 助教	室温に近い超伝導転移温度をもつ3元系水素化合物の探索
	オサベ ケンジ 長部 謙二 大阪大学 産業科学研究所 助教	光質の変換操作による植物の形質変化と遺伝子発現解析
	カク シゲル 加来 滋 法政大学 理工学部 准教授	グラフェンを介したエピタキシャル成長の理解と制御
	カリヤ ショウタ 刈屋 翔太 大阪大学 接合科学研究所 助教	酸素固溶チタン合金の高延性化機構解明
	キクタ ジュンイチ 菊田 順一 大阪大学 大学院生命機能研究科 准教授	骨・関節破壊における破骨細胞の機能とその制御機構の解明
	キムラ ケンイチ 木村 健一 筑波大学 生存ダイナミクス研究センター 助教	CD73陽性細胞による骨髄造血微小環境形成メカニズムの解明
クルマジ タカシ 車地 崇 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 助教	磁性と伝導電子が強く結合した新規磁性トポロジカル半金属の単結晶育成と物性解明	

	対象者	研究題目
自然科学系	コガ サオリ 古賀 沙緒里 熊本大学 発生医学研究所 助教	造血幹細胞の試験管内分化モデルの構築
	ゴトウ タイチ 後藤 太一 東北大学 電気通信研究所 准教授	スピン波光波変換素子に適した磁気光学ナノ構造体の開発
	コバヤシ ノブユキ 小林 信之 大阪大学 核物理研究センター 准教授	結晶標的を用いた新しい原子核反応の研究
	サカイ ユウジ 境 祐二 京都大学 医生物学研究所 特定准教授	細胞内分解機構の理論的解明
	サカモト タカイク 阪本 鷹行 徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 講師	<i>Fusarium</i> 属糸状菌によるポリマー原料発酵生産技術の開発
	サカモト マサユキ 坂本 雅行 京都大学 大学院生命科学研究科 特定准教授	脳深部イメージングのための超高輝度プローブの合理的設計
	サダ アイコ 佐田 亜衣子 熊本大学 国際先端医学研究機構 特任准教授	周産期ウェルビーイング実現へ向けて：常在菌を介した表皮幹細胞形成メカニズムの解明
	サトウ エイスケ 佐藤 英祐 岡山大学 学術研究院自然科学学域 助教	電気化学的手法によるインドールの環化三量化反応
	サトウ ハジメ 佐藤 玄 山梨大学 大学院総合研究部 特任助教	実験科学と計算化学の協奏によるテルペン環化酵素の解析
	セキモト アツシ 関本 敦 岡山大学 学術研究院環境生命科学学域 准教授	数理最適化理論に基づくデータ駆動型の先端流動制御
	タカハシ ユウマ 高橋 佑磨 千葉大学 大学院理学研究院 准教授	ウキクサにおける種内多様性の生態的機能とそのメタ遺伝基盤
	タケダ ヒロノリ 竹田 弘法 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 助教	ミトコンドリア外膜トランスロケーターSAM複合体のタンパク質膜挿入プロセスの構造生物学的研究
タナカ ワカナ 田中 若奈 広島大学 大学院統合生命科学研究科 助教	植物ホルモンが司る腋芽幹細胞創生機構の解明	

	対象者	研究題目
自然科学系	タマミツ ミウ 玉光 未侑 東京大学 先端科学技術研究センター 特任助教	分子生物学データを教師とした非標識光学計測による非破壊な細胞表現型分析基盤の開発
	ツカサキ マサユキ 塚崎 雅之 東京大学 大学院医学系研究科 特任助教	新しいタイプの骨形成細胞の発見と制御
	ニシカワ ツヨシ 西川 剛 京都大学 大学院工学研究科 助教	ホウ素含有ビニルポリマーの解重合性設計を基軸とした循環利用型高分子の開発
	ノダ タイチ 野田 大地 熊本大学 大学院先端機構 准教授	異数性生殖細胞で起こる精子形成ダイナミクスと受精能力の検討
	ヒルシュベルガー マクシミリアン ヒルシュベルガー マクシミリアン Hirschberger, Max 東京大学 大学院工学系研究科 准教授	熱輸送によるスピン励起の量子位相の検出
	ヒロセ ヒサアキ 広瀬 久昭 京都大学 化学研究所 特定准教授	細胞内抗体送達ペプチドの細胞選択性機序解明
	フクシマ キヨハル 福島 清春 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 特任助教	多様な単球サブセットが形成する線維化病態のダイナミズム
	ホソカワ トモヒサ 細川 智永 京都大学 大学院医学研究科 特定講師	液-液相分離の制御によるパーキンソン病の進行抑制
	マナベ ヨシユキ 真鍋 良幸 大阪大学 大学院理学研究科 助教	ゴルジ体/小胞体選択的薬物送達で拓く糖鎖エディティング
	ヤザキ リョウ 矢崎 亮 九州大学 大学院薬学研究院 助教	重水素化合物の実用化に向けた合成基盤の創製
	ヤマモト ショウヘイ 山本 昌平 東京大学 大学院薬学系研究科 助教	中心体-微小管ネットワークの再構成による細胞型ロボットの開発
	ヨコイ タイシ 横井 太史 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 准教授	剥がれないアパタイトコーティングの創製
	ワカバヤシ トモミ 若林 智美 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 助教	日長制御によるミヤコグサの開花時期種内多型と環境適応機構の解明

	対象者	研究題目
人文・社会科学系	アケサカ ミカ 明坂 弥香 神戸大学 経済経営研究所 助教	姿なき殺人鬼：花粉症による事故の増加と経済損失
	ウタガワ コウイチ 歌川 光一 聖路加国際大学 大学院看護学研究科 准教授	生涯学習政策におけるシリアスレジャーの位置づけ方をめぐる日米比較
	ガデミ アミン ガデミ アミン 大阪大学 大学院人文学研究科 講師	土族反乱のグローバル思想史——神風連の乱を中心に
	カネザキ ユウコ 金崎 由布子 東京大学 総合研究博物館 助教	南米アマゾンの持続可能な開発に向けた基盤研究：考古学および古気候学的アプローチをもとに
	コジマ ダイゾウ 小嶋 大造 東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授	家計の食品ロス削減に関する実証分析
	ツチダ チアキ 土田 千愛 東京大学 大学院総合文化研究科 特任助教	一時的保護の再考：ウクライナ避難民の保護を事例に
	フジムラ タツヤ 藤村 達也 京都大学 大学院教育学研究科 助教	戦後日本における大学受験の大衆化と日本型受験産業の展開
	ミサワ ダイジュ 三沢 大樹 東海大学 児童教育学部 准教授	日本歌曲の演奏に於ける新たな視点からのアプローチ法に関する基礎的研究
	ヤマト ユウコ 大和 祐子 京都大学 国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センター 准教授	漢字系・非漢字系日本語学習者による漢字語彙の処理：書字行動分析からの検討
	ヤマモト ケント 山本 健人 北九州市立大学 法学部 准教授	宗教団体からの離脱の権利に関する憲法学的探求
		小計 10件
		合計 50件

※所属・役職は2023年4月15日時点

2024年度助成事業 稲盛研究助成対象者並びに研究題目

	対象者	研究題目
自然科学系	アベ ヨシアキ 安部 佳亮 筑波大学 医学医療系 講師	リンパ腫内マイナーポピュレーションT細胞の機能と臨床的意義の解析
	イツクシマ レイ 巖島 怜 九州工業大学大学院 工学研究院 准教授	河川地形の遷急点に着目した伏在活断層の探査手法の構築
	ウラノバ ダナ ウラノバ ダナ 高知大学 教育研究部総合科学系 講師	「微生物の会話」を分子レベルで解読し天然化合物探索に役立てる
	オオノ ヒロヒサ 大野 博久 京都大学 iPS細胞研究所 特定拠点助教	精密な遺伝子発現制御を可能とする人工RNAの開発
	オカムラ ヒデノリ 岡村 秀紀 東北大学 多元物質科学研究所 助教	細胞内光分子構築法の創成と薬理活性制御への応用
	オザワ タカアキ 小澤 貴明 大阪大学 蛋白質研究所 助教	最先端多領域光ドーパミン計測と光神経操作による恐怖学習制御メカニズムの解明
	コジマ シュン 小島 駿 東京大学 生産技術研究所 特任助教	可視光通信システムにおける物理層秘密鍵生成法の開発
	コバヤシ キョウゴ 小林 暁吾 九州大学 大学院理学研究院 助教	場所に関する記憶の識別に関与する細胞基盤の解明
	サカマキ ジュンイチ 坂巻 純一 順天堂大学 医学部 准教授	オルガネラ膜脂質のユビキチン化の普遍性、分子基盤、生物学的意義の解析
	シバタ シュン 柴田 峻 東北大学 大学院医学系研究科 助教	ヒト胚着床オルガノイドモデルを用いた妊娠免疫母子間ネットワーク機構の深層解明
	シモモト ヒロアキ 下元 浩晃 愛媛大学 大学院理工学研究科 准教授	立体規則性が制御された易分解性アクリル樹脂の開発
	シュウ ウェイウェイ 周 偉偉 東北大学 大学院工学研究科 准教授	レーザー粉末床溶融結合法による多機能セラミックスの創製
	シライシ タカヒサ 白石 貴久 熊本大学 先進マグネシウム国際研究センター 准教授	特異な周期配列構造の自己形成メカニズムの解明: チタン合金の開発
	スズキ ヤスヒト 鈴木 祥仁 大阪公立大学 大学院工学研究科 准教授	重合に誘起されるガラス化近傍での不均一性、非晶構造変化、化学反応速度の関係性

	対象者	研究題目
自然科学系	スリアジャヤ アデイルマ スリアジャヤ アデイルマ 九州大学 大学院数理学研究院 准教授	リーマンゼータ関数と素数の間隔の分布
	セキ タカカズ 関 貴一 弘前大学 大学院理工学研究科 助教	界面振動分光法による，界面分子描像の三次元超解像顕微鏡の開発
	タカイ アツロウ 高井 淳朗 物質・材料研究機構 高分子・バイオ材料研究センター 主任研究員	近赤外光電変換を実現する $\pi$ 共役分子のワンステップ合成・高密度集積化
	タカエ キョウヘイ 高江 恭平 東京大学 生産技術研究所 特任講師	スキルミオン凝縮相におけるダイナミクスの普遍構造
	タカハシ リョウ 高橋 遼 お茶の水女子大学 基幹研究院 助教	渦度ダイナミクスによるスピン流体発電の制御
	タグチ ジュンペイ 田口 純平 東京大学 医科学研究所 特任助教	遺伝子全長ヒト化マウスの汎用的作出を実現する基盤技術の開発
	チャダニ ユウヘイ 茶谷 悠平 岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域 准教授	アミノ酸配列に秘匿された新規遺伝情報を自在制御する手法の開発
	ツカモト タカマサ 塚本 孝政 東京大学 生産技術研究所 講師	クラスター物質を基盤とする新物質化学領域の開拓
	ツネマツ トモミ 常松 友美 北海道大学 大学院理学研究院 講師	神経細胞に依存しない睡眠覚醒制御機構の解明
	テラカワ ツヨシ 寺川 剛 京都大学 大学院理学研究科 助教	DNAカーテン1分子蛍光イメージングで探る転写因子YY1のDNAループ形成分子機構
	トミダ ケンゴ 富田 賢吾 東北大学 大学院理学研究科 准教授	大規模並列計算に対応した輻射磁気流体シミュレーションコードAthena++の開発
	ニシグチ アキヒロ 西口 昭広 物質・材料研究機構 高分子・バイオ材料研究センター 主幹研究員	液-液相分離制御によるin vivo血管化技術の開発
	ノサキ ショウヘイ 野崎 翔平 筑波大学 生命環境系 助教	アルギニンリッチなDNA結合タンパク質の分子機能および生物学的意義の解明
ノモト マサノリ 野本 真順 富山大学 学術研究部医学系 准教授	睡眠中の脳の情報処理ルールを解読する	

	対象者	研究題目
自然科学系	ハヤシ カツマ 林 克磨 京都大学 大学院医学研究科 特定助教	感染の場の異質性を加味した感染症流行動態モデルの構築
	ハヤシ ヒロノブ 林 宏暢 物質・材料研究機構 マテリアル基盤研究センター 主任研究員	水溶性有機多孔質ナノシートの開発と機能
	ヒライケ ユウタ 平池 勇雄 東京大学 保健・健康推進本部 助教	褐色脂肪細胞の鍵因子NFIAによる文脈特異的な転写制御機構の解明
	フジイ シュン 藤井 瞬 慶應義塾大学 理工学部 助教	原子層二次元物質で機能化した超高Q値微小光共振器による新奇ナノ光物性の開拓
	マエダ タクヤ 前田 拓也 東京大学 大学院工学系研究科 講師	新奇ヘテロ接合を利用した窒化物半導体高電子移動度トランジスタに関する研究
	マルヤマ ケンタ 丸山 健太 愛知医科大学 医学部 教授	大腸癌の予防を目指した基礎的研究
	ミナミ サトシ 南 聡 大阪大学 大学院医学系研究科 特任助教（常勤）	1細胞RNAseq 解析を用いたAKI to CKD の病態解明と治療応用
	ミナミタニ エミ 南谷 英美 大阪大学 産業科学研究所 教授	トポロジカルデータ解析を応用した酸化物ガラスの構造・物性相関の解明
	ヤマグチ エイジ 山口 英士 岐阜薬科大学 薬学部 講師	励起アニオン種の戦略的活用に基づく新しい可視光レドックス触媒化学
	ヤマミチ マサト 山道 真人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 准教授	迅速な進化と共存動態：理論と実証
	ワカタケ タカノリ 若竹 崇雅 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 助教	寄生植物と宿主植物の間で道管液が転流するしくみの理解と制御
	ワタナベ ヒロコ 渡辺 寛子 東北大学 ニュートリノ科学研究センター 助教	海洋底地球ニュートリノ観測の実現を目指した光検出器モジュールの開発
		小計 40件

	対象者	研究題目
人文・社会科学系	アダチ トモオ 安達 知郎 京都教育大学 大学院連合教職実践研究科 准教授	教師による倫理綱領作成を支援するプログラムの開発、および効果測定
	オオヤマ タカトシ 大山 貴稔 九州工業大学 教養教育院 准教授	グローバル・サウスから見た「平和国家」の変質：メコン地域の開発援助関係者への聞き取りを通して
	オカモト ナオコ 岡本 尚子 人間文化研究機構 人間文化研究創発センター 研究員	『千一夜物語』仏語訳者J・C.マルドリユス研究—地中海地域における文学空間の実相解明に向けて
	オザキ ミツキ 尾崎 充希 宮崎大学 教育学部 講師	肢体不自由特別支援学校の主体的・対話的で深い学びの実現に向けたCO-OPを基盤とした授業づくり
	オマトラポー ヒトミ 小俣ラポー 日登美 京都大学 白眉センター 特任准教授	奇蹟という焦点——聖遺物をめぐる「事実」構築過程の歴史
	カイデ ユウスケ 開出 雄介 北海道大学 大学院公共政策学連携研究部 准教授	気候変動に対処するための国際法の構造分析——約束モデルと公益モデル——
	カワサキ ケンタロウ 川崎 賢太郎 東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授	農業発展と獣害に関する統計分析：ブータンを対象として
	コウ セイセイ 向 静静 立命館大学 立命館アジア・日本研究機構 助教	20世紀前半における日本漢方医学書の中国への影響：東アジアの思想的交流の解明
	タシロ アイ 田代 藍 東京大学 未来ビジョン研究センター 特任講師	変容する新コモンズ管理論の構築：田んぼダムの意思決定に関する実証研究
	モチヅキ ミキ 望月 美希 静岡大学 情報学部 助教	福島第一原発事故における「通い復興」と生活再建の現状
		小計 10件
		合計 50件

※所属・役職は2024年3月8日時点

2024年度研究助成事業 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェロー

採択年度	対象領域	InaRISフェロー	研究テーマ
2020	量子	京都大学 基礎物理学研究所 教授 高柳 匡	量子エンタングルメントから創発する量子重力理論
2020	量子	東京大学 大学院総合文化研究科 准教授 野口 篤史	誤り耐性量子計算のための超高精度量子制御
2021	生命	東京大学 先端科学技術研究センター 教授 西増 弘志	新規RNA依存性酵素の探求
2021	生命	北海道大学 低温科学研究所 教授 山口 良文	哺乳類の冬眠能を構成する因子同定とその機能検証
2022	材料	東北大学 電気通信研究所 教授 深見 俊輔	人工制御による物質・材料の「知能」の発現とコンピューティングへの展開
2022	材料	京都大学 高等研究院 准教授 藤田 大士	生物情報起源材料用のマトリックス合成と新機能の創出
2023	情報	九州大学 大学院システム情報科学研究院 教授 亀井 靖高	機械と人のインタラクションによるソフトウェア開発様式の創出
2023	情報	名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授 田中 由浩	内的特性に基づく触知覚の原理解明と情報化
2024	医学	名古屋大学 大学院医学系研究科 教授 鈴木 洋	遺伝子制御情報の時空間進化の理解・予測に基づくがん治療
2024	医学	東京大学 先端科学技術研究センター 教授 星野 歩子	エクソソームが切り拓く疾患生物学
			以上 10 名

※所属・役職は2024年3月1日現在